

東京音楽コンクール入賞者リサイタル

高木凜々子

Ririko Takagi

ヴァイオリン・リサイタル

Program

バッハ：G線上のアリア

プロコフィエフ：
ヴァイオリン・ソナタ第2番ニ長調

シューベルト：
ヴァイオリンとピアノのための幻想曲



With
五十嵐薫子
(ピアノ)

2022.6/18[土] 14:00開演
(13:30開場)

東京文化会館 小ホール
(JR上野駅公園口前)

全席指定 一般¥4,000 学生券(高校生以下)¥2,000

[チケット取扱い]

オフィス諷雅 www.officefuga.jp/

03-5778-5288(平日9:30~17:30)

◎ぴあチケットセンター t.pia.jp [Pコード: 209-468]

◎イープラス eplus.jp

◎東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650 t-bunka.jp/tickets/

主催: オフィス諷雅 共催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館
お問い合わせ: オフィス諷雅 support@officefuga.jp

※学生券購入の方は、入場時に学生証の提示をお願いいたします。

©Naoya.Yamaguchi

一般発売
1/29

交歓の美学に抱かれない ———— 奥田佳道(音楽評論家)

また聴きたい。その声が次のステージを導く。また一緒に演奏したい。ピアニスト五十嵐薫子さんも微笑む。

今をときめく高木凜々子さん。新境地を分かち合う舞台が近づいてきた。

フルート・ソナタから編まれたプロコフィエフの「ヴァイオリン・ソナタ第2番ニ長調」は、ヴァイオリニスト必携の名曲である。

あの表情豊かなソナタを想いも新たに弾く。

機知に富んだ第2楽章スケルツォの調べを小気味よく奏でる凜々子さんが目に浮かぶ。

アレグロ・コン・ブリオと記されたフィナーレの第4楽章では、彼女の鮮烈で前向きな音楽観がそれこそ全開になるはずだ。

でも今の凜々子さんは、美や夢への憧れを感じさせる第1楽章モデラートに共振し、

ひんやりとした叙情が胸をうつ第3楽章アンダンテでも、きっと魅せる。

稀代の旋律作家シューベルトの逸品「幻想曲ハ長調」とは、ほほ緩む選曲だ。

止めどもなく溢れ出る歌はもちろんのこと、超絶技巧も舞う。奇蹟の転調も添えられた。

この愛すべき二重奏曲を、ソロも室内楽も素晴らしいピアニスト五十嵐薫子さんと高木凜々子さんと味わうのだ。

つややかなヴァイオリンがいつも以上に羽ばたく。

交歓の美学に抱かれないものである。

高木 凜々子 (ヴァイオリン) *Ririko Takagi, Violin*

2017年バルトーク国際コンクール第2位及び特別賞受賞、シュロモ・ミンツ国際ヴァイオリンコンクール第3位、2018年東京音楽コンクール弦楽器部門第2位及び聴衆賞受賞。2020年日本音楽コンクール第3位及びE・ナカミチ賞受賞。急遽来日不可となったソリストの代役でスタンコヴィッチの協奏曲第2番を東京ニューシティ管弦楽団の定期演奏会で日本初演し好評を博す。今までに、読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、大阪交響楽団、ハンガリー国立交響楽団セグド、ハンガリーソルノク市立交響楽団、など国内外の楽団と共演、リサイタル活動、YouTube配信、メディア活動などを積極的に行う。

3歳からヴァイオリンを始め、全日本学生音楽コンクール東京大会、日本演奏家コンクール、洗足学園ジュニアコンクール、全日本ジュニアコンクール、かながわ音楽コンクール、横浜国際音楽コンクール、全て1位受賞。2010年度財団法人ヤマハ音楽振興会最年少音楽奨学生。2018年度2021年度ローム音楽奨学生。東京藝術大学音楽学部卒業、現在桐朋学園大学院音楽研究科修士課程に在学中。

公式ウェブサイト <https://www.ririkotakagi.com>



©Naoya Yamaguchi



五十嵐 薫子 (ピアノ) *Kaoruko Igarashi, Piano*

六歳より桐朋学園子供のための音楽教室にてピアノを習う。

2003年第23回ピティナピアノコンペティションB級全国大会金賞、2010/11年ショパンコンクールインAsia高校生部門アジア大会銀賞、2014年ピティナピアノコンペティション特級銅賞、第83回日本音楽コンクール入選、2015年第84回日本音楽コンクール第3位、併せて本選で最も印象的な演奏に贈られる三宅賞を受賞。2017年桐朋学園大学を首席で卒業し、皇居・桃華楽堂での御前演奏会に出演。また、2017年にベルギー王妃が御来日された際、御前演奏を行う。第1回めざましクラシックス超絶技巧選手権準優勝。2019年日本ショパンコンクール第3位。2020年第89回日本音楽コンクールにて、卓越したピアノ伴奏により審査員特別賞を受賞。日本各地で演奏活動を行うほか、ソリストとしてこれまでに、東京都交響楽団、日本フィルハーモニー、東京フィルハーモニー管弦楽団、東京シティフィル管弦楽団、桐朋学園大学オーケストラ等と共演。室内楽も積極的に行っており、徳永二男氏や長谷川陽子氏等と共演している。これまでに今泉紀子、山田富士子、村上弦一郎、横山幸雄、岡本美智子の各氏に師事。2010年桐朋学園女子高等学校音楽科奨学生、2014年桐朋学園特別奨学生、2014~2015年明治クオリティオブライフ奨学生、2016年メンデルスゾーンアカデミー(ドイツ・ライブツィヒ)奨学生、2018年、2019年度ロームミュージックファンデーション奨学生。2017年より桐朋学園仙川キャンパス特待生として桐朋学園大学大学院修士課程を修了。2021年第18回ショパン国際ピアノコンクール本選出場。

※未就学児の入場はお断りしております。※車椅子ご希望の方は、オフィス風雅 support@officefuga.jp までご連絡ください。※購入されたチケットの半券(小さい方の裏面に氏名およびご連絡先を必ずご記入ください。

※入場の際、およびおよび本番中も含め必ずマスクの着用をお願いいたします。マスクを着用いただけない場合には、ホールへの入場をお断りさせていただきます。※開場時のホール入口、およびお手洗いでのご整列の際には、最低でも前後1m以上の間隔を空けてお並びください。※熱のある方(37.5℃以上目安)、頻繁な咳・くしゃみが出る方、その他体調に不安のある方は、ご来場をお控えください。また来場時に不調のある方、および非接触型体温計による体温確認によって体温の高い方は、入場をお断りさせていただきます。※入場の際、ホール入口に設置の消毒液による手指消毒にご協力ください。